

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	楽器レッスン2（楽器テック2）	
科目基礎情報					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	演習
教科書/教材	必要に応じて資料を配布する。				
担当教員情報					
担当教員	チームアクティブ		実務経験の有無・職種	有・ローディ	
学習目的					
この科目を受講する学生は、プロの世界が協働の場であることを理解し、ミュージシャンとしての楽器知識を得るとともにコンサート制作現場での職業についての知識も『楽器テック』を中心に学習する。出演者、裏方共通してどのような知識が必要で、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。					
到達目標					
この科目では、学生が、日々の音楽活動においての楽器の扱い方を学び自分の機材をベストな状態を保てるようになる。またバンド活動などで、他パートの機材知識知ることによってセッティングの時間短縮、音色の理解につながるのアンサンブルの向上、リハーサル、本番での作業効率の向上することができる。プロになって活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会で協働することの重要性を理解することなどができるようになることが目標になる。					
教育方法等					
授業概要	この授業では、まず講師よりその回のテーマとなる機材について基本的な使用方法、注意点などをレクチャーする。その後実際に機材を使い実践して知識を習得する。回を重ねることで楽器全般の扱いを理解し。他のミュージシャンの機材も扱っていく。				
注意点	この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。職業実践の観点から、授業中の受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	20%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	40%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	バンドアンサンブル、音作りの重要性		各パートの音色、音質などを理解する		
2回	現場見学②		楽器フェア見学		
3回	ギターの音作り		ギターの音色づくりを理解する		
4回	ベースの音作り		ベースの音色づくりを理解する		
5回	ドラムチューニング		ドラムチューニングの基礎を理解する		
6回	キーボードの音作りレベル合わせ		キーボードの音色設定レベル合わせの重要性を理解する		
7回	モニター環境について		ライブ時におけるモニター環境の重要性を理解する		
8回	Real Dreams RH見学		Real Dreams MU科RH見学		
9回	音作りまとめ		音作りまとめ		
10回	ケーブル作り		シールドを作る		
11回	弦交換		弦交換の注意点を理解する		
12回	PA基礎③		学生のみで簡易PAセット組む		
13回	講師バンド実習③		プロバンドのセッティングを理解し学生のみでセッティングできるようになる		
14回	講師バンド実習④		楽器セッティングに加え簡易PAシステムも組む		
15回	まとめ		後期まとめ		